2026年3月期 営業の中間ご報告

SFG REPORT 2025 December

未来がはじまる場所になる。

しずおかフィナンシャルグループ

ごあいさつ

取締役社長 CEO 柴田 久

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

日本銀行が2024年3月に17年ぶりの利上げに転じて以降、日本も「金利のある世界」に回帰し、本格的な金利上昇・インフレ局面に移行しつつあります。足元では、日経平均株価が史上初の5万円台に突入し、力強い経済成長に期待がかかる一方で、分断が進む国際情勢の緊迫化や地政学リスクの高まりを起点とした原燃料価格の高騰等の懸念要素は払拭できず、成長の「持続性」については不透明感が漂う状況にあります。

さらには、人口の構造変化がもたらす労働力不足の深刻化や生成AIの爆発的な進展が物語るように、取り巻く経営環境は、想像をはるかに上回る速度で変化し続けており、私たちは、時間価値を意識したスピード感のある行動を実践するとともに、変化を恐れず、自らをアップデートし続けることが必要だと考えています。

こうした認識のもと、しずおかフィナンシャルグループでは、加速度を増す環境変化に応じた戦術の見直しを含めて、新たな中期経営計画を策定することを決定し、社内で準備を進めています。持株会社体制で初めて臨んだ第1次中期経営計画で得られた手応えと課題を胸に、ステークホルダーの皆さまから共感いただける成長戦略を描き、さらなる高みを目指してまいる所存です。

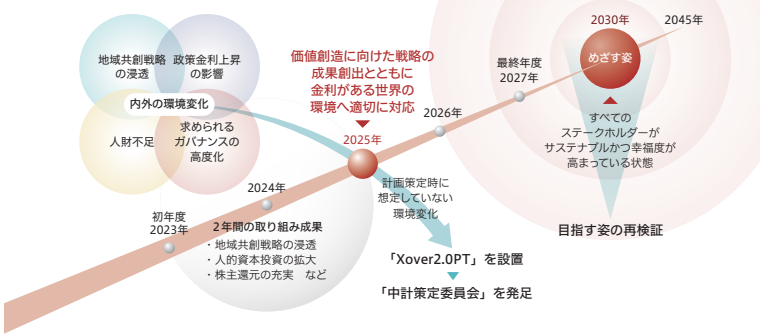
皆さまにおかれましては、変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申しあげます。

第1次中期経営計画［期間2023～2027年度］

クロスオーバー Xover ー新時代を拓く

10年ビジョン 地域の未来にコミットし、地域の成長をプロデュースする企業グループ

中計ビジョン 未来へつなぐ新たな価値を創造する課題解決型企業グループ



TOPIX ～マテリアリティ解決に向けた取組み

地域社会の健全な成長

富士山・アルプス アライアンス「移住促進プロジェクト」の始動

富士山・アルプス アライアンスにおける重点施策の一つに「人口減少・労働力不足に対する関係人口の増加」を掲げ、移住促進事業を推進しています。その第1弾として「人財マッチング事業」と「移住応援ローン」の取扱いを開始しました。

「人財マッチング事業」では、建築・不動産業界の求職者と求人企業の情報をマッチングすることで、3県への移住希望者を職業面から支援し、定住人口の増加につなげます。

また、「移住応援ローン」は、勤続年数に関する審査要件を設けず、生活変化に合わせた返済開始時期を選択可能とし、移住後の暮らしを経済面から支援します。

富士山・アルプス アライアンス
Mt.Fuji・Alps Alliance

山梨中央銀行・八十二銀行の移住専担者や自治体、民間企業等と連携し、人口減少・労働力不足の解決に向けた支援を行うことで、持続可能な豊かな地域社会を目指します。

静岡銀行 移住促進担当マネージャー　名倉秀樹

環境と経済が両立した社会の充実

「しずぎんの森」が自然共生サイトに認定

2025年9月、しずぎん本部タワー敷地内の「しずぎんの森」が、環境省の「自然共生サイト※」に認定されました。

しずぎんの森は、在来植物を主とした緑地が広がり、希少猛禽類ハヤブサの繁殖活動が確認されるなど、市街地域の生物の貴重な生息環境となっており、このような生物多様性とその保全・回復（ネイチャーポジティブ）への活動が評価されました。

今後も、持続可能な地域社会および経済に不可欠な「ネイチャーポジティブ」の実現に向け、地域一体となって取り組みます。

※ 地域生物多様性増進法に基づく生物多様性の維持等の実施計画の実施区域として認定された区域

しずぎんの森

自然共生サイト認証式

人的資本経営の実践

「役職員の夢・行動」と「基本理念・経営戦略」の一致

経営と役職員が直接対話する機会を通じて、グループの方向性を理解する「タウンミーティング」や、自律と挑戦といった企業文化の醸成をめざす「社内ベンチャー制度」などを通じて役職員の夢の実現や成長を支えています。

タウンミーティングの実施

2025年度は参加役員を拡大するなど、内容の充実を図り、延べ706名が参加しています。（2025年9月末現在）

社内ベンチャー制度

2025年8月、第3回社内ベンチャー制度「ピッチコンテスト」を開催し、書類審査を経た19チームが参加し、事業アイデアを発表しました。

最優秀賞 組織のコラボレーションを加速させるコミュニケーションツール「LINKLE」

企業規模などに関わらず、さまざまな拠点で働く仲間が常に同じフロア、同じデスクで働いているような距離感を感じられれば、組織の強さにもつながる。そんな思いで、社内人財の情報を共有する「LINKLE（リンクル）」の事業化に向けた検討をしています。

静岡銀行 IT企画グループ　青山奈生

未来世代に向けた取組み

商品や金融経済教育等を通じた豊かな地域社会の創造

地域の未来を担う子どもたちの健全な育成を支援するため、金融経済教育を通じた金融リテラシーの向上や、未来世代をサポートする社会貢献寄付型の金融商品を推進しています。

オリジナル教材「桃鉄投資クエスト ～投資の力でまちを救おう～」

ゲーム感覚で楽しく投資体験するなど、金融や経済の仕組み、地域の社会課題に関心をもちながら、より深い学びとなるよう取り組んでいます。

- 開催回数：20回
- 参加人数：902人（2025年10月末現在）

金融経済教育（出張授業）

社会貢献寄付型融資・定期預金キャンペーン「しずおか未来世代サポート」

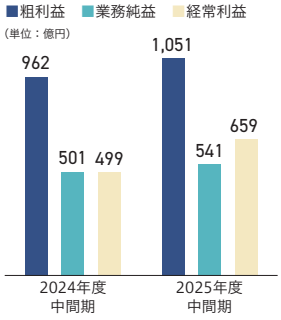
地域の子どもたちが利用するこども食堂など「こどもの居場所」を運営する静岡県内の団体や基金に、貸出金の平均残高や定期預金の残高に応じて、寄付を行います。

社会貢献寄付型融資（2025年10月末現在）
- 取扱件数：166件
- 取扱金額：58億円

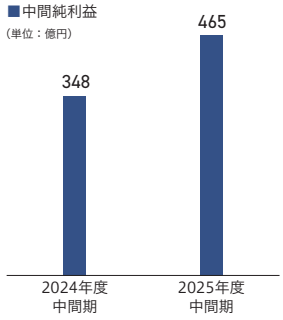
社会貢献寄付型定期預金（2025年10月末現在）
- 取扱件数：604件
- 取扱金額：131億円

中間業績ハイライト（2025年度中間期）

粗利益・業務純益・経常利益（連結）



親会社株主に帰属する中間純利益（連結）



ROE〈連結〉

純資産基準 **7.6%**

前年同期比+1.9pt

株主資本基準 **9.3%**

前年同期比+2.0pt

OHR〈連結〉

49.9%

前年同期比 ▲0.8pt

貸出金残高（平残）〈静岡銀行〉

10兆7,686億円

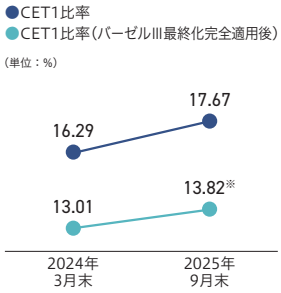
前年同期比+3,409億円

預金等残高（平残）〈静岡銀行〉

12兆2,639億円

前年同期比+1,812億円

自己資本比率（連結）



※バーゼルⅢ最終化完全適用後の資本フロア調整額等を考慮した試算値

格付

	しずおかフィナンシャルグループ	静岡銀行
Moody's	–	A1
S&P Global Ratings	–	A⁻
格付投資情報センター（R&I）	AA⁻	AA⁻

株式情報

株式情報（2025年9月30日現在）

株主数	40,011名（2025年3月31日比 8,115名増）
発行済株式の総数	580,129,069株
保有自己株式数	37,694,322株

株主還元の状況

2027年度までに「配当性向50%以上」への累進的な引き上げを目指します。2025年度の1株当たり配当金(年間) は、2024年度から18円増配し78円を予定しています。

	中間	期末	年間配当金
2024年度	25円	35円	60円
2025年度	39円	39円（予定）	78円（予定）

株式事務のご案内

株式事務につきましては、以下をご覧ください。
https://www.shizuoka-fg.co.jp/ir/stock-administration.html

グループストラクチャー

銀行・証券・リースなど多彩なサービスの展開を通じて、お客さまの暮らしやビジネスをグループ全体で支援しています。

金融業務
静岡銀行
〈海外子会社〉
Shizuoka Liquidity Reserve Ltd. 他

信用保証
静銀信用保証

リース
静銀リース

IT関連業務
静銀ITソリューション
ティージェイエス

金融商品取引
静銀ティーエム証券
マネックスグループ
コモンズ投信

経営コンサルティング
静銀経営コンサルティング
ターンザタイド

グループの生産性向上
静銀総合サービス
静銀モーゲージサービス
静銀ビジネスクリエイト
しずぎんハートフル

カード
静銀カード
静銀セゾンカード

ベンチャー・再生支援
静岡キャピタル

マーケティング
SFGマーケティング

不動産関連投資助言
SFG不動産投資顧問

統合報告書2025

ステークホルダーとの価値共創に向けた多様な取り組みを紹介した「統合報告書2025」を発行しました。しずおかフィナンシャルグループの活動に理解を深めていただくため、ぜひご覧ください。

統合報告書WEBページ